

平成 24 年度 第 1 回 学校協議会 議事録

1 日時：平成 24 年 10 月 5 日（金）15：30～17：00

2 場所：大阪府立泉北高等学校 会議室

3 出席者 〈委員〉

加藤 正彦氏（泉北高等学校 元校長及び大阪女学院大学 教授）、伊藤 智博氏（大阪府立大学 教授）、中村 俊一氏（立志館ゼミナール 館長）、清水 隆史氏（堺市立若松台小学校 校長）、塩田 和子氏（泉北高等学校後援会会長）、亀丸 康代氏（泉北高等学校 P T A 会長） 以上 6 名（1 名欠席）

4 挨拶 校長

- ・今年度より条例に基づき、学校協議会は大阪府直轄の委員会となりました。
- ・今年度より S S H の指定を新たにいただいた。これまでの取り組みをもとに、さらなる研究開発や地域連携をめざしていきたい。
- ・E F H S に昨年度より G 3 という枠で指定を受けた。さらに生徒の英語力の上がる取り組みを続けている。
- ・学校の課題は、国際文化科の英語能力向上のノウハウと総合科学科の課題研究等への取り組みを融合していくことで、さらなる発展をめざすことができると考えている。

5 会長選出

加藤 正彦 氏を会長に選出。

6 本年度の学校経営目標とその取り組みについて

① 『大阪府立泉北高等学校 学校協議会』の設置について（教頭より）

大阪府立学校条例第 2 条により学校協議会の設置が本年度から定められ委員の委嘱を行った。

② 平成 23 年度府立泉北高等学校評価報告書について（教頭より）

③ 平成 24 年度学校経営計画及び学校評価について（教頭より）

- 1) 教育力及び授業力の向上：7 月末に授業アンケートを実施し、分析し、校長面談でも活用し、指導力向上に役立てる。また、研修や研究授業を通じて教員の情報交換を行う。また、理数教育及び英語教育でもさまざまな取り組みをおこない生徒一人一人に確かな学力をつけることをめざしている。
- 2) 進路保障：これまでを振り返り、十分に生徒の学力を伸ばし切れていないのではないかと反省に基づき、今後さらに生徒が持っている力を最大限に発揮できる取り組みを行っていく。
- 3) 広報活動の充実：中学生・保護者対象の説明会を昨年度より多く、内容も充実させ、資料も新たに多種類用意して広く配布することで、本校の理解を深めて入学してもらえるように準備している。また、地域の小学校や中学校とも積極的に交流を行っている。
- 4) 学校生活の充実：文武両道をめざし、学校行事やクラブ活動にも力を入れている。成果も上がっており、水泳部の生徒が大阪府の大会で優勝や少林寺拳法部が全国大会出場を

果たしている。今後も目標達成のために、生徒の学習時間の保障を、部活動、アルバイト等の状況把握も含めて取り組んでいきたい。

④ 各分掌等の取り組みについて

1) S S Hの取り組みについて（研究主任より）

- ・平成24年度に再申請する際に、いかに新鮮味を出すかということで、新規の研究開発に切り替えた研究計画をたて、今年度から再指定をいただくことができた。
- ・理数系の授業の充実、国際性を高める取り組み（国際的に活躍できる科学者を育てる）。科学英語基礎などグローバルコースを設けて英語の教育に重点を置いて取り組んでいく。
- ・府立大学を中心とした近隣の大学との連携を続けていく。近畿大学との連携は府下でももっとも強い連携ができています。
- ・地域連携への取り組みも強化する。今年度は小学生対象の科学教室に100名近くの応募者があり、募集スタート日の夕方5時で申し込みを締め切ることになった。実験実習による理科教育のニーズの高さを実感。
- ・すべての教科の教員が参加。環境教育や生命倫理について学ぶ取り組み。
- ・現在の課題：重点枠の募集について。今の予算に上乗せして1000万の予算配当となる。こちらにも応募する予定で、府立大学との連携の強化、地域連携の強化などを盛り込んでいきたい。現在の実施計画に基づいて上乗せしていくことで、取り組みを深めていきたい。

2) E F H Sの取組について（研究主任より）

- ・TOEIC Bridgeを1、2年生が10月12日に受験予定。
- ・ハワイ海外語学研修は昨年同様ハワイ大学で行われ11名が参加した。訪問場所も増やし、より内容を充実させた。
- ・「Zutto GET」及び「Zutto GET Plus」では、第6回全日本高校模擬国連大会の書類審査を通過することができなかった。来年度は出場できるように、Marist Brothers International Schoolの模擬国連や泉北ミニ模擬国連などを通じて活動の充実に努めたい。
- ・11月に第6回全日本模擬国連大会の見学を含めた東京研修と、3月にMarist Brothers International Schoolとの交流を含めた春季イングリッシュキャンプを予定している。
- ・「使える英語」プロジェクト研究授業を11月28日（水）に行う予定。
- ・総合科学科「グローバルコース」につながる取組として、夏に行われたS S Hオーストラリア研修のシドニー大学で行った英語による研究発表やシンガポールの Raffles Institution との総合科学科「GET」及び「科学英語探求」受講者による英語での交流を支援した。これらの実践を総合科学科「グローバルコース」の整備につなげたい。

3) 授業アンケート（教務部）

- ・予習復習といった家庭学習の時間が不足していることが最大の課題と考えている。英語だけはかなり予習復習を行っているが、それ以外が深刻な結果になっている。理解度については、昨年度より上げるという目標は達成している。また、どの科目にも集中し真剣に取り組んでいる様子が見られる。学科別の特徴は、体育や家庭科に対する興味関心がどちらも高いが、国際文化科は英語が、総合科学科は理科や数学に対する関心が高い。しかし、それぞれの授業のレベルが高いために英語や理科、数学の理解度が低い結果となっている。

- ・3年生になればなるほど理解度と興味関心度が高くなっている。

4) 教務部

- ・7月17日に授業アンケート実施。8月23日の職員のディスカッションで、このアンケートを基に生徒の学習時間をどのようにすれば伸ばせるかなど話し合った。今後はアルバイトの現状などを把握することも含めた新たな学習アンケートを行う予定。
- ・新課程で入学した現在の1年生の教育課程でより多様な選択を可能にすることで、大学入試の変革にも備えて、進学の際に受験大学の選択肢の幅を広くできるようにした。これに準じて、平成25年度に入学する生徒の教育課程についても変更を行った。
- ・高校入試の変化：本校は前期のみの入試で大きな変化に対応できるように、入試のボーダーゾーンについて検討して公表した。
- ・生徒の平日の学習時間が1時間を下回っていることもあり、何か新しい方策が必要となってきた。

5) 生徒指導部

- ・礼儀正しく行動：挨拶を奨励し、実践できている。
- ・美しい環境づくり：今年度は特にロッカーの上の私物をチェックし、マナーや約束事を守れる学校づくりをめざす。
- ・美しい身だしなみ：頭髪指導の件数は減少し、スカートなど服装違反には教員全員で対応。
- ・遅刻指導：定期考査ごとに指導。特に2年生国際文化と3年生総合科学科の遅刻回数が多くなっているが、1、2名の特に遅刻の多い生徒がいるということも影響している。家庭と協力して指導中。
- ・安全指導について：先日安全講習を行ったが、最近起こった自動車との接触事故から10月13日に全校集会を持って指導する予定。
- ・保護者との連携：各担任が努力している。
- ・携帯電話の指導不十分という指摘を受けた。乱用している部分もあると思うが、辞書などの機器として使用している場面も見られる。

6) 進路指導部

- ・1年時からの3年間系統立てた進路指導。
- ・社会の変動と職業観の一致をめざす。
- ・各学年の担任団と連携して、学年に応じた進路情報の提供をめざす。
- ・本年度は125名のセンター試験受験者。
- ・進路便りを発行することで生徒の進路意識を高める努力。
- ・進路資料室を整備し、生徒に的確なアドバイスや資料提供ができるようにしている。
- ・キャリア講演会なども各学年2回以上実施予定。
- ・2年生は全員オープンキャンパスで自分の目で大学を見て、看護体験は年2回以上参加を奨励するなどを通じて生徒の意識を高める。
- ・3年生の外部模試の校内実施の回数を今年度から4回に増やし、1、2年生は2回行っている。
- ・保護者対象の進路説明会を各学年1回開催。
- ・具体的な面接指導を10月上旬に行った。
- ・目標設定をさせて、やるべきことをはっきりさせるようにしている。

7) 保健部

- ・安全で健やかな学校生活を送る目標で、
- ・生徒保健委員会の推進と教室環境の整備（各クラスの清掃を重点的に）
- ・安全対策（地震、津波、火事）のため防災訓練を実施予定。1回目が天候不順で中止となったが、2回目を現在計画中。
- ・健康診断を中心とした健康維持活動を行い、合宿前にも検診を実施している。
- ・教育相談を生徒指導部と学年と連携して、不登校の生徒や精神的につらい思いをしている生徒の対応を行っている。

8) 国際総務部

- ・国際関係：○長期留学の説明会を行った。2年生がカナダに1名、1年生でカナダに1名、ノルウェーに1名留学予定。
○短期語学研修を行い、オーストラリア10名、ニュージーランド11名、ハワイ11名が参加した。
○留学生の受け入れを行っており、ノルウェーから4月から12月まで1名、8月から12月までオーストラリアから1名が在籍している。
○国際交流として、7校の交流事業に協力
○姉妹校との交流では、モスマン高校が訪問予定だったが先方の都合で実現できなかった。来年度はウェリントン高校からの訪問がある予定だ。
- ・総務関係：PTAとの連携が中心である。PTA大学見学会を実施し、関西学院大学を見学。本年度のPTA活動はとても盛んで、生徒の合唱コンクールへの有志参加、ヨガ教室、緑化の取り組みを予定している。

9) 図書情報部

- ・図書を通じて文化的な側面を担い、情報機器及びインターネットの管理や整備などを行っている。
- ・文化的な側面支援は、読書指導と文化的行事の企画運営を行っている。
- ・情報機器では、校内のネットワークの確立に努めている。
- ・昨年より図書の貸出件数が若干上昇している。もっと上昇させるために、今後は図書便りなどの発行を検討している。
- ・9月27日にビッグアイにて本年度も文化行事を実施。目標の満足度が50%をはるかに超え、来年度の文化行事も決まりつつある。
- ・校内のネットワークは順調に確立できている。
- ・自習室としての図書館の利用も検討していきたい。

10) 広報部

- ・地域への情報の発信。中学生、中学生の保護者、本校の生徒や保護者へ情報発信を中心に活動しており、ホームページの更新（現在55回更新）をできる限り行っている。
- ・毎月の新聞の発行を今年度より始めた。
- ・課題：ホームページが500MBしかないため府教委に容量を増やしてもらえるように依頼。
- ・中学生向けの説明会資料準備：ガイドブックを3000冊作成。それも次の学校説明会分には足りない状況で、例年より多くの方々に資料を配布されていると考えられる。
- ・部員で各行事を撮影し、ホームページに掲載している。
- ・第1回の学校説明会の準備が進んでおり、年3回開催予定。

7 協議

- たくさんの資料を駆け足で説明されたため、全体しか把握できなかつたので、細かいところを聞くことが難しい。細かく役割分担し、進捗状況を報告し、進めていっている取り組み方はすばらしいし、それぞれがそれぞれの役割を責任もって果たされているところはすばらしい。しかし、分掌が単独になってしまうと、全体に機能しないことがある。各分掌の目標が全体で共通理解がなされていることが大切。順調ということだが、必ず課題や問題点があるはずなので、外部の者としてはそういう課題などを聞いて一緒に考えていきたいと思う。全体的には、それぞれの分掌でよく把握されてやられていると思う。
- 学校のアンケートを取ると、第1回目はたいてい高い結果が出る傾向があり、実施の仕方が変わることが大きいので、どのように実施されているのか気になる。2回目、3回目になると結果が変化することがある。どこに目標を設定されていくのかが問題ですが、自らが勉強する生徒たちにするという目標をお持ちのようですばらしい。
- 学年を追うごとによくなっているデータ結果がすばらしい。目標から中間報告、最終的に課題を見つけて取り組んでいくという流れですばらしい。もう少し（生徒さんに）府立大学に来てほしい。
- 入試の前期入試の数学AとBの選択次第で、生徒の得点が非常に低くなってしまって、本来の学力が測れないので、簡単な方がよいのでは。
→基本的には難しい方でやってほしいと教育委員会から指導されている。本校としては、国際文化科の数学や総合科学科の英語は易しい方がいいと思っているが、他の国際科学高校とは考え方が違う。今回の入試では前期も後期も学校ごとに選択することができなくなったこともあり、前期は文理科用と一般用しかないのので、今回は文理科用となった。国際科学高校3校は同一問題を使用することになっている。
- （入試の問題について）学校としては現状に合った方がいいと思っておられるのでは。難しい問題であると、可否を決めるのが難しいのではないか。
→委員会には陳情を行うが、なかなか聞き入れてもらえない現状である。
- これだけどの部署からも熱心に報告されたのは初めてで、すばらしい。

8 会長まとめ

- ・授業力をどうするのか。
- ・進路、生活指導等の各分掌のより一層の連携。
- ・多種多様な入り口で実践に取り組んでおられることに驚いた。模擬国連は自分がいたころも率先して視聴覚教室で行っていた。泉北の取り組みは色々な所で先駆けとなっていると思われる。
- ・泉北の偏差値は250校中、35番であるのに、泉北温泉というワードもインターネットで出てきた。きつともっともっと伸びるのであらうと期待している。

9. 事務連絡

- ・学校協議会を本来の2回分を、今年は1回でまとめてしまい、協議の時間が少なくなり申し訳なかった。投書などがあつた場合、臨時に開催することになるのでご協力願いたいし、随時ご意見などいただければ幸いである。分掌の進捗状況については、職員会議で本日と同様に発表する予定で、分掌間の情報共有をしていきたい。また、3月には総括を行い報告する。
- ・次回連絡 第2回目は3月に開催予定。